

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年3月29日

事業所名 コロニー児童デイサービスのぼりかわ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8				
	2	職員の配置数は適切である	8				・人数を十分に配置している。 ・適切であると思うが、職員の数を増やしてほしいと思うことがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8				・トイレ入り口がバリアフリーではないので、改善が必要。 ・トイレやフローリング等、配慮している。 ・今、利用している子たちには良いが必要に応じて改善はあるのかなと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			・職員ミーティング ないで意見交換をしている。	職員ミーティング等でアンケート結果を全体で把握する機会をもうけていく。 取り入れられる内容は早めに取り入れ業務改善に徹する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・近年では動画研修も視野に入れ、資質の向上を高めるよう常に検討し実行に向け準備等している。	・年に数回の研修の機会がある。
適切な支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			・職員間の情報交換が生きている。	・年に一度はアセスメントをとり、今より計画書の質の向上に取り組む必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		1	・職員間の情報交換が生きている。 子供たちの個性を見ている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8			・日頃の活動でも、児童の反応をみながら、活動内容を変更している。	・休日などに、普段実行できない体験(水族館・城跡)などにでかけている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			・平日、休日、長期では過ごす時間が違うので、長期などは取り組みに工夫している。	・夏休み等の長期休みの際に新しい取り組みや目標を決めている。 ・児童の日頃の様子をみて、課題がある場合、声掛けなどの対応を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
援 の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		・支援前に行ってはいいないが、普段の会話の中でも振り返りがある。	・子どもたちのその日の行動を報告している。支援会議で職員同士の確認をしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			・子どもたちのその日の行動を報告している。 ・気になった点は話し合い共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			・計画書に関する支援内容など、対応方法や児童の様子を職員間で連携し、記録をとって支援内容の改善を行っています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			モニタリング会議には職員全体が関わり、見直し等を行うようにしている。	・職員ミーティング、支援会議の打ち合わせにて継続・見直しを職員全体で判断していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	1			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	1			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			基本、学校への送迎時に先生との情報共有に努めており、連絡調整は電話で行うような形となっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	2			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	2			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3	1		・環境の変化に敏感な児童が多いため厳しい。 ・他の事業所との交流も年に何度か行っている。 ・児童館や地域での行事などに外向く事が少なく、交流する機会が少ない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			・保護者とは常に状況の共有に努めている。 ・申し送りの際に話を聞いたり、情報交換をしている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			・短歌報酬の変化や方針の変更点があれば都度保護者へ説明している。	・説明を行う上で、全体に確実に伝えられるよう、伝え漏れのないように努めようと思います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1			・保護者からの相談は、適切に助言し共有している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			・年に数回ゆんたく会の開催 ・ゆんたく会や、親子参加のレクを行い交流がもてるようにしている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			・苦情があった場合はすぐに対応し、記録を残し、改善するように対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8				
	35	個人情報に十分注意している	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2		・ハローウィン等、地域のお店等に協力してもらい交流している。	・コロナもあり、外部講師や地域の活動に行けなかったが、少しずつ参加していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			年に2回避難訓練の実施をしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	2		・今は事業所で事例がない。	パニックや自傷行為、緊急時にどうしても止めなければいけないケースが出た場合、虐待防止委員会で検討し、保護者にも十分に説明したいと思います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8				
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		1	ヒヤリハットの事例が起これば、報告書を作成し提出。コピーを事務所本棚に保管しいつでも閲覧できるような状態にしている。	